



続けることで力になる ～楽しい夏休み・やりきった夏休みに～

校長 田口 利一

『継続は力なり』

小さな時からよく言われた言葉です。

メジャーリーグで活躍するイチロー選手は、「夢や目標を達成するには一つしか方法はない。小さな事を積み重ねること」と語っています。

好きなことはあまり気になりませんが、続けることは、かなりのエネルギーが必要です。小さな頃は、できることなら努力をしなくてもなんとかならないかと思っていました。

しかし、年齢を重ね、ふり返ってみると、確かに続けたことで力がついた、できることが増えたと思います。

佐藤一斎先生も、「事を為すには立志、実行、継続」が大切だと言っておられます。最近話題の中学生プロ棋士の藤井さんも小さな時から将棋を始められたと聞きました。



私は、大勢の人とのつながりの中で生きていくには、得意分野というか、自信のあることを発見し、それを磨いていかなければならないと思っています。そのためには、「続ける」ということが必要になってきます。

一人一人には、必ず輝くものがありますが、成長していく中で自信をなくしてしまうこともあります。そんな時こそ、「自分の強みは何だろう。」「自分のよさは何だろう。」と自問することが大切だと思います。子どもたちには私たち大人が、勇気づけの言葉で、強みやよさを気づかせてあげなければならないと思っています。



明日から夏休みです。

夏休みは、「立志・実行・継続」のよいチャンスです。計画を立てて、実行に移している姿、コツコツとやり続けている姿をほめてあげてください。さらに、家族の方の「継続は力なり体験談」をぜひ聞かせてあげてください。きっと子どもたちのエネルギーになると思います。

飯地小の子どもたちは、毎日毎日一輪車の練習を続ける力があります。この力を夏休みに発揮して、1学期に学んだことの復習、生活リズムづくり、お手伝い、研究などを続けることで、自分の力、自分の強みにしてほしいと願っています。

2学期の始業式には、どの子も元気で笑顔で会えることを楽しみにしています。

＜7月の活動から＞ ○クラブ活動



3から6年生の子どもたちは、木工・バドミントン・英語の中から、1コースを選び1学期に5時間の活動を行いました。木工コースでは鉢花を入れるのに意欲的に取り組み、個性を伸ばしていきたいと考えています。

○プール開き 7/3



6月に全校で一生懸命掃除したプールで、元気に泳げる季節になりました。「今年はクロールで〇〇m泳ぎたい」などそれぞれが目標をもち、水泳に取り組んでいます。

○笠周地区3校交流会 7/5



飯地・中野方・恵那北小の6年生が恵那北中学校に集まり交流しました。各校の活動の様子を発表したり、ゲームをしたりして交流しました。来年は多くの児童が同じ学級の仲間とまり活動することになります。お互いの様子を知ることのできる良い会になりました。

○七夕集会 7/5



図書学習委員会のメンバーが、七夕の話の読み聞かせをして、日本の季節の風物詩を味わいました。

一輪車や水泳が上手になりたいなどの願いごとを書いた短冊や七夕飾りを、竹に飾りました。目標に向かって頑張ろうという子どもの気持ちを大切に、指導をしています。

8・9月の予定

＜8月＞

20日(日) PTA環境整備作業8:30～
プール納め10:00～

例年実施しております環境整備作業では、今年も各組から協力者を選出して頂きご協力頂きます。児童、PTA会員、教職員の減少の折、大変助かります。お世話をかけますが、よろしくお願いします。

28日(月) 始業式

30日(水) ～9/4(月) 校内夏休み作品展

31日(木) 命を守る訓練

＜9月＞

1日(金) 陶芸教室

4日(月) 一輪車教室

7日(木) 社会見学

30日(土) 運動会

(プール開催日)

7/21,24,25,26,27,28,31

8/1,2,3,7,8,9,10 (合計14回)

☆保護者の皆様には、プール当番よろしくお願ひします。